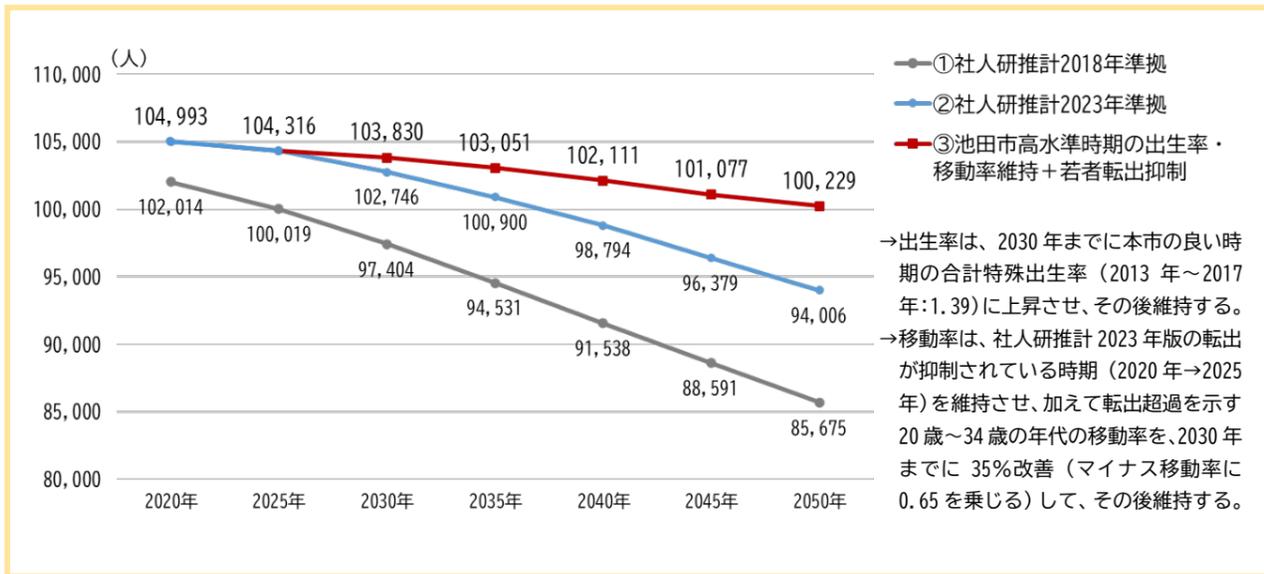


将来人口の推計

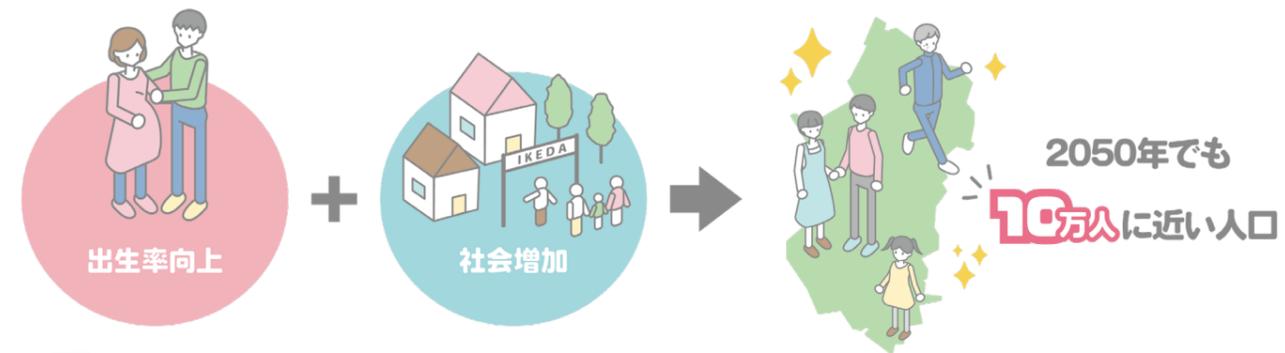
本市の人口を長期的に見通すため、国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」という。）の推計をもとに、次の①～③の将来人口推計の比較を行いました。



将来人口の展望

第7次池田市総合計画（2023～2032年度）では、定住人口は「市民の健康長寿の維持・向上や少子化対策に取り組むとともに、市外からの移住を促進し、この結果として、2032年度に10万人の定住人口を維持する」、さらに「まちづくり人口の拡大や相互の交流により都市活力がさらに向上するとともに、定住人口の増加にもつながっていく」ことをめざすとしています。

近年は、これまでの取組の成果と言える社会増加がみられる一方、自然減の傾向はこれからも避けられないものとみられます。長期的に都市活力や健全財政を維持していくためには、出生率の上昇に向けた取組を一層積極的に推進するとともに、社会増加とこれを維持する定住促進の取組を進めることで、2050年でも10万人に近い人口をめざします。



もっと詳しく知りたい方はこちら



第3期総合戦略



第7次総合計画



第3期 池田市

まち・ひと・しごと 創生総合戦略 概要版



池田市まち・ひと・しごと創生総合戦略とは

池田市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、池田市総合計画がめざすまちの将来像及び人口目標の実現に向けて、特に地方創生に関わる施策を整理し、推進するための下位戦略として位置付けられるものです。

少子高齢化や人口減少の進行に伴う都市活力の低下が懸念される状況において、希望を持って住み続けることができる持続可能な地域づくりを進め、一人ひとりが多様な幸せを実現する社会をめざします。

戦略期間

2025年度～2029年度の5年間



第7次池田市総合計画

キャッチフレーズ
「だったらいいな」を叶える いけだ

めざすまちの将来像
笑顔あふれる豊かな暮らしを未来につなぐ
みんなが大好きなまち

第3期池田市まち・ひと・しごと創生総合戦略

希望を持って住み続けることができる、持続可能なまち池田

視野横断的な
視点

デジタル活用
の加速化・深化

① 次世代につなぐ
「希望」をかなえる



結婚・出産・子育ての支援や、働きながら子育てしやすい環境づくり、教育の充実などにより、子どもに関する「希望」をかなえます。

「子育てしやすい(子育てしたいと思える)まちだ」と思うか
現在: 58.8 ポイント → 目標: 65.0 ポイント

施策1 妊娠・出産に関わる希望への支援

- 男女問わず若年からのプレコンセプションケア支援
- 妊娠に関わるそれぞれのライフスタイルに応じた支援
- 妊娠・産前・産後の切れ目ない相談支援など



施策2 子育て支援の充実

- 幼児教育・保育、留守家庭児童会における量・質の確保及び向上
- 関係機関との綿密な連携による療育・発達支援の推進
- まち全体で子育てを支える機運の醸成と支援の拠点や機会の創出 など



施策3 教育の充実

- 「教育日本一のまち池田」を体現する学習者主体の特色ある教育の推進
- 教員の負担軽減とさらなる能力向上
- 学校を核とし、家庭・地域・社会が協働する学習の場や機会の創出 など



② 地域が躍動する
「まち」をつくる



安全・安心に暮らせる環境のもと、市民や事業者をはじめ池田にかかわる誰もがつながり合い、活躍できる魅力的な「まち」をつくります。

「住みやすい(住みたいと思える)まちだ」と思うか
現在: 69.4 ポイント → 目標: 75.0 ポイント

施策1 産学官連携によるまちづくり

- 地域ごとのニーズや特色を踏まえた市民及び地域団体との協働
- 多様なリソースを活用する企業や事業者との協働
- 先端の知見を共に生かす教育・研究機関及び学生との協働 など



施策2 安全・安心な住環境の構築

- 多様な主体との協働による犯罪の抑止と防犯意識の高揚
- 自助・共助・公助それぞれの効果的な連携による防災力の向上
- ゼロカーボンシティの実践と生物多様性を守るみどりの都市環境維持 など



施策3 地域福祉・多文化共生の推進

- 誰もが生き生きと暮らせる多機関の協働による包括的支援体制の構築
- 多世代・多文化が交流・共生する社会の実現に向けた取組
- バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮したまちづくり など



③ 豊かな魅力で
「ひと」をよびこむ



池田の様々な魅力を高め、積極的に発信することで、「まちづくり人口」の拡大、ひいては転入・定住へつながるように地域に「ひと」をよびこみます。

「愛着がある・自慢できるまちだ」と思うか
現在: 65.7 ポイント → 目標: 75.0 ポイント

施策1 観光の振興

- 広域観光の視点も踏まえた市内観光資源の一層の活用
- 時勢に応じ、ターゲットを捉えた情報発信及びPRの展開
- インバウンドを含むすべての観光客にとって安全・安心で魅力ある観光施策の展開 など



施策2 転入・定住の促進

- 転入者にとって魅力的で、定住者が暮らしやすいまちの情報の整理・発信
- 関係人口を転入につなげ、社会増・自然増に資する取組
- 転入・定住者のまちづくりへの参画促進に向けた取組 など



施策3 ふるさと納税の訴求

- 本市ならではの魅力的な寄附金の使い道の発信
- 地域活性化につながる返礼品の一層の充実
- 企業版ふるさと納税など多様な財源の確保 など



④ これからの時代の
「しごと」をささえる



地域産業の振興、創業・就労支援を推進するとともに、ダイバーシティが輝く雇用環境の形成に取り組み、時代に沿う持続可能な「しごと」をささえます。

「働きやすい(働かたいと思える)まちだ」と思うか
現在: 42.8 ポイント → 目標: 60.0 ポイント

施策1 商工業・農園芸の振興

- 各種団体等との連携に基づく商工業の振興
- 細河地域を中心とする時代に即した農園芸の振興
- 企業・事業者のSDGs、DX、GXなどの周知啓発及び取組推進 など



施策2 創業・チャレンジの支援

- 事始めのまちにふさわしい創業の支援
- 次代を担うことのできる起業家の育成及び定着
- 新たな価値の創出に向けた起業家間のつながりづくり など



施策3 多様な人材の活躍

- 一人ひとりのニーズに応じた活躍の場の提供に向けた情報発信・就労支援
- 一層の活躍に向けたスキルアップの機会の創出
- ダイバーシティ経営に向けた企業・事業者の取組の促進 など



SDGsの推進

多様な主体との
連携

